

刊夕日五十月十

常磐每日新聞

社址 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社
 電話 八三〇番
 発行所 常磐毎日新聞社
 電話 八三〇番
 発行所 常磐毎日新聞社
 電話 八三〇番

滿洲事變概要 (二)

福島聯隊區司令部發表

2 奉天附屬地に駐劄する歩兵第二十九聯隊(第六中隊—機關銃—平田大佐—若松)は豫て奉天附近約一万五千人の支那軍中に介在する境遇として右の變を聞き夜半頃より出動し奉天に在る支那軍の排除に努む

3 遼陽に在りし第二師團長(多門中將)は十九日午前一時頃急を聞き所要の部署をなし師團主力を奉天附近に集結を命じた

4 蓋し張學良隷下の支那軍は三十三万人(内正規兵二十五万人不正規兵八万人)あるが目下關内に十一万出動し殘餘の二十二万(砲二百十六門)が滿洲に居り其内奉天附近は約一万五千(砲約四十門)が居る(平素城内支那兵力三千)

之に對し我が在滿部隊は合計一万人(内駐劄師團約五千六門獨立守備隊方大隊約五千)にして關東軍の任務は關東洲を防備し南滿洲鐵道千百吉米の保護に任ずるのであるが之が爲必要と認むるときは兵力を使用することを得るのである

尙情勢之を要するときは在留邦人約十七万人と鮮民約八十万人の保護をも大に考慮せねばならぬ、平素馬賊の出沒に對しては縦ひ何回瀕發しても十分に債務の達成の餘裕があるか一旦支那官兵を相手とすることになると其處置は餘程機敏を要することは勿論である、今次の如く愈々日支兩軍が其眞面目の交戦を惹き起した以上は我軍としては直に分散しある兵力を所要の地点に集結しつゝ訓練の精到と鐵道交通の便宜とを活用し機先を制して逆襲に轉じ所在に先づ眼前の支那軍を排除して我軍行動の餘地を確保しながら任務の達成の方途を求めることが殆んど絶對唯一の遣り方となるので之が爲平素より幾多の周密な計劃を持つて居るのが當然である

5 右の如く第二師團の主力(遼陽の歩兵第十六聯隊等)は十九日午前五時頃迄に奉天に下車し遼次市街の東側地區に向ひ進出した、斯くて午前八時頃迄に奉天城の支那軍を掃蕩し其後第二師團の主力には海城の砲兵聯隊(四中隊十六門)が加つたが、午後二時半頃迄東大營奉天東北方向約二里に在りし支那兵を驅逐した

6 旅順に在りし關東軍司令官(本庄中將)は此日午前三時頃諸情報に依り軍の主力を以て奉天附近の處理を行ふに快し、特に一部隊(獨立守備隊を用ふ)にて鳳凰城(午前六時)營口(午前九時半)支那軍の武裝解除を行ふた、又第二遣外艦隊の一部に營口の警備を依頼し朝鮮軍にも所要の連絡を取つた (續)

綴り方

秋の朝

平第一校 第五 山崎道雄

「ボン、ボン、ボン。」五時を打つ時計に目をさました「ジャポ、く、く。」臺所では母が何かを洗つてゐる。戸のすきまから、弱々しい秋の日光がもれてくる。もる太陽が下界を照らして始めた。「……」何か復習してゐる兄の聲が隣の室から聞えてくる。着物にきかへて、戸をあけて見た。「やあ——」庭を一目見た僕は驚きの聲をあげた。

昨夜の雨が降つたので、庭の木はぬれて、秋の日光にキラ／＼光つてゐる。すみの方には朝顔が咲き亂れてゐて、何とも言へない美しさ。僕はいつまでもそこに立つてゐた。

「かうく——」と牛乳車の通る音に気がついて、井戸端へ顔を洗ひにいつた。「新聞」と配達さんが新聞をなげこんで行つた。「新聞屋さんは早いな」とつぶやきながら家に入つた。

看護婦急派の求めに應じます

平町南町
平看護婦會
 電話三〇七番

木村外科醫院
 平町五丁目橋際
 電話三〇九

かまぼこの御用は藤寅へ

儀式用 折詰仕出し

御惣菜用 さつま揚 吉原揚

迅速達 **藤寅**

平町一丁目 電話一四一番

江戸前料理 会堂

秋の味覺をそゝる松茸が出廻り
 食卓に芳香をはなつて……

松茸料理 始めました
 秋の鳥料理

せし一度御試食下さい

出前迅速 **錦水**

田町(電話四五四)

來る十六日より五日間公開

大作 (察偵の曉) 十二巻

主演氏スメルセーパ・ドーヤチリ

忽然としてその巨姿を我映畫界に現はし絶讚激賞、好評、感嘆の限りを一身に集めて早くも斯界の問題となる空前絶後の記録的大空中戦映畫「曉の偵察」は飽くまで眞實に迫り、力強く盛り上がり、観る人の心にひし／＼と喰ひ込み陰慘醜き戦争の實體を暴露した、之は實に素晴らしい空の映畫の帝王篇である、此の戦渦を描ける一篇こそ來るべき世界大戦の暗示に非ずして何ぞや

入場料 小中大 人等 五生二 錢錢十

天の下の副將

【卷八 篇二第】

柳青・郎太菊・門羅 演共 下木・子駒原

帝キネ時代劇 東亞キネマ現代劇

次郎吉ザンゲ 隼秀人主演

雲井龍之助主演

座聲有

時計の修繕なら……半額

平驛前通り **星野時計店**へ

◇時計、眼鏡廉賣店
 ◇硝子入無料券進呈

浸水稻田は二千町歩

米収は約四萬石減少

今回の出水被害高判明

玉川村地内が最も甚し

郡農會大略調査

一昨日石城郡下を襲った暴風雨のため農作物被害に就いては目下郡農會にて調査中であるが本日迄判明した處では郡下の浸水稻田は二千町歩、畑は五六百町歩に達し殊に

減収と見た爲め大体十三四萬石に減収される模様なので郡農會では此が対策として天候回復次第一刻も早く刈取る方法を

を奨励して居るが一方畑作の大根蔬菜等も十時間以上浸水せる作物は殆んど全滅と見て居るのでこれらの被害も甚大であらうと

水害の甚大な地方は

玉川村の水田四百七十九町歩、畑百二十三町を最高として居るが今回の出水は引水が割合迅速であつた爲め被害高も豫想よりは稍少ないと見て居る、尙今年の稲作は平年收穫高十七萬石より四五分の不作であつた處へ今回の出水で約四萬石の

昨年秋に比し

籾の取引減少

全國的相場安の影響

石城郡販賣利用組合の四倉籾市場は既報の如く閉鎖を廿日迄延期し農家の持籾を收集しつゝあるが本年の籾收穫は桑苗の不良不足及全國的相場場の値安等に影響

されていづれも三乃至四割の減少を示して居り閉鎖までの統計をみるまでもなく昨年同市場取引額四萬餘貫とみられ殊に十一月下旬には平町外八ヶ村の俵米品評

雇はれた音楽隊がプロ的な樂音でプー／＼やつてゐる中へわずかに波紋を描く氣安さにある、ゲームがクライマックスに達するとベンを投げて感嘆する「やつたナ！」と聲を發する

スポーツ二題

片やレストラン

片や運動會見物

コーヒの波紋

少しせいたくなスポーツを欲しい時、我々はレストランサロンあたりのテーブルに坐る、勿論ラデオは、今、神宮球場から放送される河西アナウンサー、スコアブックとコーヒースセット

を前に置いて、右と左の兩手使ひわけといふフォーム。テーブルにはコスモスかダリアの一輪差し、室内の空氣が調節のいい聲で静かに動かされてゐるだけ、スポーツの興奮はコーヒの

少し貧弱なスポーツを欲しい時、我々は町の小學校の運動會に出かける、紙の萬國旗がはた／＼と鳴つてゐる、その下で我々は立ちみてゐる、グラウンドは子供らが何か跳ねたり飛んだり廻つたりしゝるだけ、

ける總取引及取引額は左の如くである

取引額

(白籾) 三、二〇〇貫九〇分
(黄籾) 一、四〇〇貫五〇分
計 三、三〇〇貫四〇分

取引額

(白籾) 三、二九〇貫七錢
(黄籾) 一、三〇〇貫五錢
計 三、五九〇貫二錢

尚之ら取引件数は三千七百十五件であると

收穫期に入つて

倉庫の利用者激増

來月下旬には品評會

石城販賣利用組合では豫ねて平町田町に設立した農業倉庫が既に營業を開始してゐるも未だ一般に利用されてゐないため之を一層普及するべく同組合役員は十八

磐城丸に代る

新造船計劃

但し財源難

既報小名濱水産試驗場所有の磐城丸修理は明年二万圓を投じて爲される計劃であるが縣當局一部には此際舊式にして老朽甚だしい磐城丸修理よりも新らしく鋼鐵船を建造する議が起りつゝ、

あり同船は約百二十噸二百五十馬力で六十余名の乗組員を有する現在の約二倍大で建造費は十萬圓の見込であるが財源難の折柄これが具体化するまでには相當問題であるらしく目下種々考慮中であると

菊花展

入山會館で

三日間開催

湯本町菊花展覧會は來る二十五日から三日間入山自治會館において開かれるが出品種類は一百餘種に及び例年にならぬ美觀を呈するであらうと

今年度の各隊入營數

總計三三〇名

| | |
|-------------------------------|----|
| 種合格者の各隊への入營數は左の如く全部で三百三十三名である | |
| 歩二九 | 七四 |
| 同看護 | 一七 |
| 野砲二 | 一四 |
| 獨山一 | 二〇 |
| 工兵二 | 〇〇 |
| 輜重一 | 〇〇 |
| 歩兵三 | 二九 |
| 同看護 | 一六 |
| 鐵道隊 | 一〇 |
| 同看護 | 〇一 |
| 飛行隊 | 〇一 |
| 歩七四 | 一八 |
| 野七五 | 一八 |
| 歩七三 | 一八 |
| 獨守二 | 一八 |
| 同看護 | 一八 |
| 電信 | 一八 |
| 海兵團 | 一八 |
| 機關兵 | 一八 |
| 同看護 | 一八 |
| 主計兵 | 一八 |

平陽眞綿講習

平産業同業組合では今十五日より一週間の豫定で組合員の眞綿講習會を平陽女學校講堂に開催して居るが講師は佐藤タマ女史であると

受賞生徒

第二校二十八名

昨十四日平第二小學校運動會においてメタル受賞生徒は左の二十八名である

(尋三) 小園井瑞江 鈴木カメヨ 瀧ユキ子(尋四) 北村翠子 中村重 中野弘子(尋五) 大谷トシエ 熊トク子 中村ハル子 大塚アサ 本田カクヨ 新妻セイ(尋六) 五十嵐キミ 神谷孝子 奥津定子 鈴木ミヤ 富田貞子 本間アイ子 大島照子

石城籾取引状況

四倉籾市場(十四日) (白籾) 一四九貫(最高) 三圓三錢(最低) 二圓五十五錢(馴) 二圓七十二錢

平町人事

△月見町二 吉田喬三氏三男舞彌 △南町七八 伊藤伸喜氏長女芳子 △古鍛冶町三一 長久保安信氏 長男一 △仲間町一三 會我信太郎氏 二女恒子

海老原治子(高一) 平山ミナ 高橋ミチ子 國井キミ 和田登美子(高二) 先崎フミ 中山ミヤ 飯田キクエ 林トミ

安倍氏湯本へ 時事新報社顧問安倍季雄氏は今十五日午前十時五十分湯本驛着直ちに同校小學校にて講演をなした

夏井農會協議 石城郡夏井村農會では十八日午前十時より同村小學校に於いて協議會を開催十一日下旬平町に開催される俵米品評會の出品法に就いて協議を重ね終つて米穀検査に關する講演會を行ふので穀物検査平支所長木名瀬氏が講師として當日出張すると

玉川小頭更迭 石城郡玉川村消防組小頭門馬忠作氏は辭職願提出中であつたが昨許可され同時に同村門馬周平氏が小頭に任命された

明治節を中心 第八回體育デー

磐中始め各學校團體 プラン作成中

来る十一月三日の明治節を中心にして行はる第八回全國體育デーは本年も大々的に各種の催しを行ふべく、**磐中**を始め磐女、平商其他の各中學校及郡下各町村小學校、青年訓練所、幼稚園、教育會、及男女青年團體などで早くも具體計畫を立て、るが昨十四日左記の如き通牒が本郡各町村長、學校長、訓練所主事

宛に到達した爲め夫々一層體育に關する**思想**の普及並に實施の促進を計ることになつた

實施要項
一、運動會、體操會、競技會、競技檢査その他適當なる體育運動を行ふこと
一、學校青年團その他組織堅實なる團體では右施設を有意義ならしむるため特に體育會の形式による

紅葉境の絶景

溪谷の秋を尋ねて

關西女學生がトツツ

見頃は廿五日頃から

本縣八景の一としてその景勝を喧傳されてゐる川前附近の夏井川溪谷は秋深まると共に行樂の日を持つべく各地方の人々によつて紅楓の頃を待たれてゐるが今次の十七、八兩日の休日はまだ紅葉に早く今月二十五日の日曜あたりが稍々見頃となり全山紅葉となつて燃え盛るのは來月一日三日の兩休日頃であらうと同地元民は語つてゐるが同地へ來た今年の紅葉狩のトツツは三週間程前東北旅行にきた關西の女學生によつて切られてゐるが彼女等は青い山をみて歸つた後であつた秋氣高く澄んで颯々五里余の夏井川溪谷は秋水岩を噴み黄紅の楓を瀨に含んで錦珠の飛沫を上げ幾十大小の飛瀑が満山五色の彩りに白簾をかかげてゐる絶景は一年を通じて唯一無二各方面からの團躰も入りこんで同地は一切り大賑ひを呈するのである

可とす、體育祭に於いては國旗掲揚、石代奉唱參加者の團体行進、合同體操、檢閲等を行ふこと、**一、**體育に關する講演會講話會等を催すこと
二、體育に關する調査研究の發表をなすこと
一、體育に關する活動寫眞の映講、ポスターの掲示、パンフレット、リーフレット等の配布、展覽會の開催等をなすこと
一、その他體育事業に關する

可とす、體育祭に於いては國旗掲揚、石代奉唱參加者の團体行進、合同體操、檢閲等を行ふこと、**一、**體育に關する講演會講話會等を催すこと
二、體育に關する調査研究の發表をなすこと
一、體育に關する活動寫眞の映講、ポスターの掲示、パンフレット、リーフレット等の配布、展覽會の開催等をなすこと
一、その他體育事業に關する

市川老の葬儀

井上組頭涙の弔辭

平町の「時」の恩人市川長作老の葬儀は本日城山鐘樓宅にて伏見町長、井上消防組頭を始め町内消防組員全部參列し、しめやかに舉行されたが式上井上組頭は大要左の如き弔辭を呈した
故市川長作翁の靈に告ぐ
翁の消防生活は世に稀なるものと稱するも由緒無きに非ず即ち義務消防の時代より勅令消防の新時代に年移り人變り流れ行く星霜四十有餘年獨り翁依然消防人として今日に到る七十歳の高齡に達し尙壯者を凌ぐの概あり誰か翁の永き消防功績に對し禮讃せざる者あらん哉あゝ悲しい哉平消防界に翁の姿を没したる深く寂莫を感じる處あり消防に印したる翁の功績は城山の鐘の響と共に永へに消

京洛の秋へ

今朝旅立つ

磐城中學校では今回初めての試みとして從來毎春五年生の關西旅行を今年は四年生が京洛の秋に旅することになり一行百七十余名が今朝五時三十分平驛發列車にて一週間の豫定で出發したる表彰、健康優良者の表彰等を行ふこと

けふしめやかに

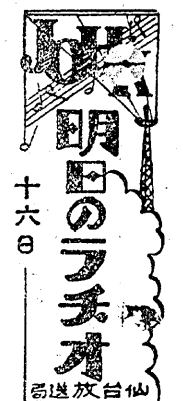
井上組頭涙の弔辭

平町の「時」の恩人市川長作老の葬儀は本日城山鐘樓宅にて伏見町長、井上消防組頭を始め町内消防組員全部參列し、しめやかに舉行されたが式上井上組頭は大要左の如き弔辭を呈した
故市川長作翁の靈に告ぐ
翁の消防生活は世に稀なるものと稱するも由緒無きに非ず即ち義務消防の時代より勅令消防の新時代に年移り人變り流れ行く星霜四十有餘年獨り翁依然消防人として今日に到る七十歳の高齡に達し尙壯者を凌ぐの概あり誰か翁の永き消防功績に對し禮讃せざる者あらん哉あゝ悲しい哉平消防界に翁の姿を没したる深く寂莫を感じる處あり消防に印したる翁の功績は城山の鐘の響と共に永へに消

近代女性とリズムの美

磐女運動會 愈々明後日

磐城高等女學校秋季陸上運動會は明後十七日午前七時半から同校櫻ヶ丘グラウンドにて開催されるが當日は郡下女子小學校選手のリレー競技があり其他同校生徒の競技に午前中は一、二年生のダンス「和蘭の子供」及



報豫氣天

今晚も明日も北西の風晴一時曇

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) お話と讚美歌とピアノ(世界日報學校記念日に因みて)
後七、三〇 座談會「早慶戦の思い出」
後九、〇〇 連續講義「伊勢の初旅」第三席 神田伯竜
後九、三〇 「日本期院秋季東西大手合戦續(一)」

明日の部

後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 生齒相場
後九、一〇 料理献立「田毎燕し」
前二、〇〇 家庭講座 永田秀次郎
後三、〇〇 五名作物語「銀の匣」石野馬城
後二、〇〇 家庭大學講座

投散らす

苦情に憤慨 鳥屋暴れる

石城郡好間村大字上好間字

大風呂敷を抱へた

手長小僧捕はる

平驛内を徘徊中

昨十四日午後五時頃平驛内を徘徊する大風呂敷を抱へた少年を平署員が発見取調ると同人は田村郡瀧根村生れ目下茨城縣北相馬郡相馬町字藤代吳服商寺田新平方

めるので主人も監視中の處十二日朝石城郡内郷村に居る同人の姉が重病であると稱して逃走其際店の反物十餘反と同僚の所有物を窃取したので主人は平署に

取押へ方を願出た爲め昨夕五時頃内郷の姉方に立寄り磐城線經由で田村郡の實家へ歸らんとした處を捕れたものであると

植田秋季檢閲

署管内各町村秋季消防檢閲は今十五日から十九日まで五日間に亘り岡部署長外係員が執行する

愛婦總會の講師決定

既報來開かれる平愛國婦人會總會講師は東京家政學院長大江スミ女史と決定した

勿來林野拂下

郡勿來町では部落有林野の統一を期し從來個人有の如く取拂はれてゐた林野六十町歩を善故者に特買するべく縣に申請中であつたが昨十四日認可された

財布を紛失

平町仲直ちに判明 町大野春吉は十四日午後七時買物の爲め紺屋町地内を通行中現金十二圓六十二錢を紛失青くなつて平署へ届た處六間門叶多喜久拾得直に平署へ届出たので前記大野はホツと安心

小説 七五七

【載轉禁】

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

櫻散る夜 (5)

『有難う。誠にいろ／＼と恐れ入ります、御親切に……』

歌治は俯垂れたなりに少頃考へてゐたが、傾て徐かに首をあげて

『あの、誠にあつかましいお願ひではございますが、一ツ貴老の御親切に甘へて少々お願ひ申したいことがあるのでございますがね。』

とじつとコックの顔を窺き込んでいた。

『お願ひ？ 何んですか、私なんか出来ることなら……』

『外のことぢやあないんですかね。』

歌治は熱した心の色を目に見せて言った。

『どうぞ貴老のお手引であの十文字さんに一寸とて宜しうございませうら會はして下さいませんか、どうぞお願ひですから……』

『え、あの十文字さんに？……』

コックは稍々面喰つたやうに返辭にまごついて歌治の顔を稍々しばらく視返した。

『會はして下さることは能くありませんか。』

先程お會ひになつたぢやありませんか。

迷惑さうな様子。

『いえ、それがです、會うには會つたんですけれど、今お話ししたやうな譯なんでも用が足りないんですの、此方のいふことを聞かない先から頭ごなし



にいきなり怒鳴りつけるやうな始末でしてね。どうにも斯うにも手のつけやうがなかつたんです。あれから餘程時間も経つてゐますし、幾らか酔の醒めた時分です。うから、もう一度よ事情

は六ツケ敷いお話ですが、そいつは誠にお氣の毒なことですが私の手ぢやどうすることも出来ませんが困りましたね。』

を話して聞かしたら。分らない人ぢやないんですから私のいふことを腹に入れてくれるでせうと思ひますの、それでお氣の毒ですけれども貴老の袖におすがり申して。』

『ちよつと待つて下さい、どんな用件か知らないうちが、此の俱樂部には夫々係があつて、銘々の持場が定まつてゐるんですからね。クツキ

私がお客様のことに立入るといふことは絶対にできない規則なんです。だから一寸そのことだけは少し私に

臨機のお計らひでなんとかできないもんでせうか。何卒貴老には御迷惑ではございませうが、一ツ規定々々と言はずに是非一ツこの哀れな女のお願ひを聞届けていたゞきたいのでございませうが、ねえ、コックさんお願ひです。』

『困りましたな。それに室に引けないうちならまだいいんだが、食堂に鍵が下りてもう皆なが納まるるところに納まつた後なんですからね。第一此處のミストレス

(主婦のボイドてえ伊太利人は莫迦にやかましい女でね、少しでも出過ぎたことをすると直に青い眼玉を刺き出して、ぎやア／＼叱り飛ばすもんだから、私の仲間ぢやグースといふ綽名をつけてゐるぐらゐでさア、グースてえのはあんなに驚鳥のことですよ。ハ、ハ、』

全く絶望だつた。とりつくすべを失つてほつと太息づいた歌治は、ふと自分自身の心から……』

御用命は總て印刷物の
常警日印刷株式會社
電話三六〇番

『困りましたな。それに室に引けないうちならまだいいんだが、食堂に鍵が下りてもう皆なが納まるるところに納まつた後なんですからね。第一此處のミストレス(主婦のボイドてえ伊太利人は莫迦にやかましい女でね、少しでも出過ぎたことをすると直に青い眼玉を刺き出して、ぎやア／＼叱り飛ばすもんだから、私の仲間ぢやグースといふ綽名をつけてゐるぐらゐでさア、グースてえのはあんなに驚鳥のことですよ。ハ、ハ、』

毛糸と編物用具

全部新色二一。三平
入荷致しました
命御用程……相變らず

ハシモトヤ
糸店

トキワヤ
時計眼鏡
電話三三九

吉田眼科病院
平紺屋町、電話六八番
電話五〇二番

平町新川端(釜屋新宅向)

内科 難波 睦
醫學博士

サビー第一 現出一タスエフカ

●女給募集

本當に感じの好い一九三一一年型のカフエー……
スター
が生れました。皆様の御引立を偏に御願申上ます。
味覺の殿堂
出前迅速電話を御利用下さい

平町南町電話(呼)一七六番 芹澤自動車部向
一タスエフカ

●勿驚破天荒廉賣
記念新坑着炭
●磐城炭界……優良塊炭
正味拾貳拾五錢
一俵より
配達します
東京コークス。販賣

水野石炭商店
平郵便局通り
電話二九九番

債券公債。爲替金融

多田井質店
平町大工町
電話五九一